

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブソリューションサービシズ
東京都港区東新橋1-9-1

今週の注目材料=一連の米指標に注目

2024年2月26日

今週は比較的注目度の高い米指標発表予定が並んでいます。

まずは2月28日の米第4四半期GDP改定値。

1月25日に発表された米第4四半期GDP速報値は前期比年率+3.3%となりました。

第3四半期の+4.9%からは鈍化も、市場予想の+2.0%を大きく上回っています。

個人消費が+2.8%と市場予想の+2.5%を上回り全体をけん引しました。

ホリデー需要がかなり高く、

レクリエーショングッズ販売の好調さが、耐久財を押し上げて+4.6%

衣料品の好調さが、非耐久財を押し上げて+3.4%となり、財全体の+3.8%という高い伸びを支えました。

サービス部門もフードサービス、レクリエーションサービスの伸びが目立っており、

ホリデー需要によって個人消費が押し上げられた形となりました。

2023年通年で-10.7%と厳しい数字を示した住宅投資は、+1.1%と第3四半期の+6.7%からは鈍化もプラス圏です。

戸建ての伸びが全体を支えており、家計の消費意欲を意識させています。

企業の設備投資は+1.9%と第3四半期の+1.4%から伸びました。ただ、第1四半期の

+5.7%、第2四半期の+7.4%から見ると厳しい伸びです。

研究開発費がマイナスとなるなど、今後への警戒感の生じる結果となっています。

今回の改定値では速報値と同水準が見込まれています。

個人消費の堅調さが全体を支えると見られています。

2月16日に発表された12月の企業在庫が、10月、11月のマイナス圏から12月は+0.4%と回復。

GDP算出に利用される自動車を除く小売在庫は、11月の-0.9%から+0.4%となっています。

GDPでの在庫投資は、速報時点で+0.1%の寄与度と、第3四半期の+1.3%から伸びが鈍化していましたが、

改定値で回復を見せるようだと、GDP改定値全体を押し上げる可能性があります。

続いては2月29日発表の1月の米個人消費支出(PCE)です。市場予想は前年比+2.4%、コア前年比+2.8%となっています。12月は+2.6%と+2.9%となっており、共に伸びが鈍化見込みです。

共にピークを付けてから最も低い伸びが見込まれており、インフレーターゲットである2.0%が近づいているという印象です。

既に13日に発表済みの同系統指標、1月の米消費者物価指数(CPI)は前年比+3.1%、コア前年比+3.9%でした。

市場予想は+2.9%と+3.7%となっており、ともに予想を上回る伸びとなりました。12月は+3.4%と+3.9%。

CPI全体は伸びが鈍化も、コア前年比は12月から横ばいとなっています。

ガソリン価格が12月の-1.9%から1月は-6.4%と大きく低下し、全体の伸び鈍化に寄与しました。

コア項目では、中古車が12月の-1.3%から-3.5%に低下しました。新車も+1.0%から+0.7%に伸びが鈍化しています。

CPI全体の36.2%、コア指数の45.4%を占める住居費は+6.0%と12月の+6.2%から伸び鈍化となっています。

しかし、医療サービスが12月の-0.5%から+0.6%となり、9カ月ぶりのプラス圏。

大きなマイナスが目立っていた航空運賃が-9.4%から-6.4%にマイナス幅を縮めており、全体の押し上げ要因となっています。

PCEデフレータも同様の状況が見込まれますが、CPIに比べると医療サービスが指標全体に占める割合がかなり高く、CPI以上の伸びを見せる可能性があります。その場合、ドル高につながると見られます。

最後に1日発表の2月米ISM製造業景気指数です。

1月は市場予想の47.0を超え、49.1と12月の47.1から改善しました。

ただ好悪判断の境となる50を15カ月連続で下回っています。これはリーマンショック時を超え、2000年8月から2002年1月以来です。

内訳をみると新規受注が12月の47.0から52.5へ大きく改善、生産も49.9から50.4と50を超えてきています。

弱かったのは雇用で12月の47.5から47.1となっています。

今回の市場予想は49.1と1月と同水準です。

雇用の強さから全体に改善が見られ、50を超えてくるようだと、ドル高が一気に強まる可能性がありますので要注意です。

山岡和雅 | ミンカブソリューションサービシーズ 編集長

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。